

令和4年度当初予算の概要

1 一般会計当初予算の概要

(1) 予算規模

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
1,063億1,000万円	1,044億2,000万円	18億9,000万円	1.8%

(2) 歳入

① 市税

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が緩和され、景気の持ち直しが期待されることから市税の増収を見込み、前年度に比べ、3.1%増の406億5,016万円を計上した。

② 地方消費税交付金

前年度の交付見込み及び県税収入の動向を勘案し、前年度に比べ、4.7%増の57億8,300万円を計上した。

③ 地方特例交付金

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減少に伴い、前年度に比べ、57.9%減の1億9,160万円を計上した。

④ 地方交付税

国の交付総額及び過去の交付状況等を勘案し、前年度に比べ、19.8%増の114億7,800万円を計上した。

⑤ 寄附金

ふるさと応援寄附金の増加等に伴い、前年度に比べ、35.2%増の5億808万7千円を計上した。

⑥ 繰入金

芸術文化施設建設基金廃止に伴い、繰入金総額では、前年度に比べ、198.9%増の23億3,487万2千円を計上した。

⑦ 市債

地方財政対策に伴う臨時財政対策債が減少したこと等により、前年度に比べ、28.9%減の81億1,450万円を計上した。

(3) 歳出

① 義務的経費

人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は、前年度に比べ、1.8%増の635億9,936万1千円となっている。

その主な要因は、扶助費が障害福祉サービスにかかる給付費や認定こども園等の運営に要する経費の増などにより、8億2,248万1千円増加（2.5%増）したことによるものである。

・人件費	214億2,994万円	前年度比	0.9%増
・扶助費	332億8,507万5千円	前年度比	2.5%増
・公債費	88億8,434万6千円	前年度比	1.2%増

② 投資的経費

普通建設事業費の総額は87億9,385万4千円で、前年度に比べ、2億6,762万5千円、3.1%の増となっており、その主な要因は、矢三西住宅建替事業などの事業費が減少したものの、小学校施設整備費やとくしま動物園リニューアル事業が増加したことによるものである。

③ 積立金

積立金の総額は10億4,934万円で、前年度に比べ、10億848万5千円、2,468.4%の増となっており、その主な要因は、市民福祉基金および、子ども未来基金への積立により事業費が増加したことによるものである。

④ 貸付金

貸付金の総額は7億9,119万4千円で、前年度に比べ、10億1,504万7千円、56.2%の減となっており、その主な要因は、徳島都市開発株式会社への貸付金がなかったことによるものである。

⑤ 特別・企業会計に対する繰出金等

繰出金等の総額は124億8,657万1千円で、前年度に比べ、2億2,078万6千円、1.8%の増となっており、その主な要因は、国民健康保険事業特別会計や介護保険事業特別会計に対する繰出金の増加や、水道事業会計が実施する建設改良事業への負担金等が増加したことによるものである。

2 特別・企業会計予算の概要

会計別	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
特別会計	570億7,277万2千円	561億2,171万3千円	9億5,105万9千円	1.7%
企業会計	321億167万8千円	315億6,050万2千円	5億4,117万6千円	1.7%
合計	891億7,445万円	876億8,221万5千円	14億9,223万5千円	1.7%

(注) 職員給与等支払特別会計は除く。

特別会計では、介護保険事業特別会計や後期高齢者医療事業特別会計が増加したことなどにより、前年度に比べ1.7%増の570億7,277万2千円となった。

企業会計では、建設改良事業費の増などにより水道事業会計および市民病院事業会計が増加したことなどにより、前年度に比べ1.7%増の321億167万8千円となった。